

## Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/02/14

### Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.69	-0.34
JPY/THB	0.2204	0.0001
USD/JPY	152.80	-1.62
EUR/THB	35.22	-0.14
EUR/USD	1.0465	0.0082
USD/CNH	7.270	-0.040
SGD/THB	25.06	-0.09
AUD/THB	21.28	-0.09
USD/INR	86.90	0.01
USD Index	107.31	-0.63

### Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,925.9	16.9
WTI (Oil)	71.29	-0.08
Copper	9,485.0	30.5

### Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,284.11	0.14
NIKKEI (JP)	39,461.47	497.77
DOW (US)	44,711.43	342.87
S&P500 (US)	6,115.07	63.10
SHCOMP (CN)	3,332.48	-13.90
DAX(GER)	22,612.02	463.99

### Bond

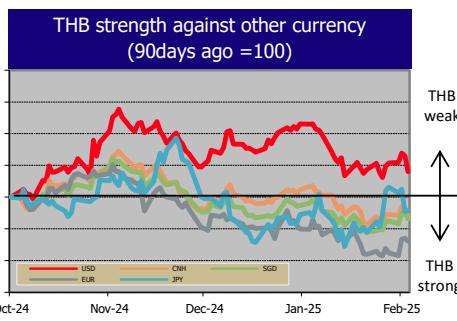
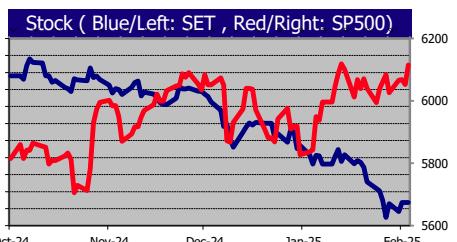
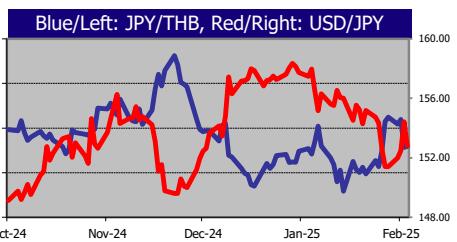
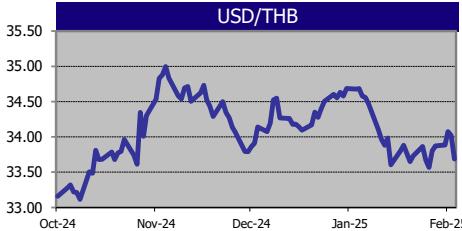
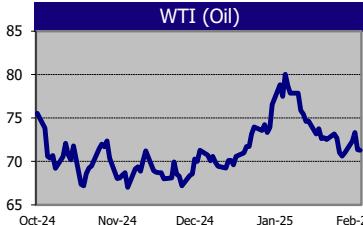
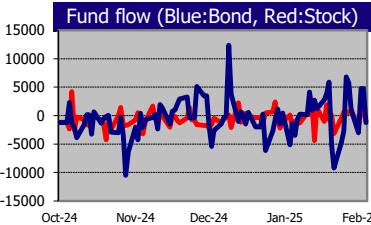
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.090	0.000
10Y (THB)	2.272	0.000
5Y (USD)	4.389	-0.078
10Y (USD)	4.529	-0.092

### Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(945)	-1953.6
Bond net flow	(1,248)	-6024.5

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



### Yesterday's market summary

#### ●ドルバーツ

昨日のドルバーツは下落。34バーツちょうど付近で取引を開始すると、バンコク時間はドル売りが先行し、33バーツ台後半で上値の重い推移が継続。海外時間入り後、一時反発する場面があったものの、NY時間に発表された米1月PPIの構成項目がコアPCEの鈍化を示唆したことあってか、下落に転じた。終盤にかけては、トランプ大統領が相互関税を導入するように指示したとのヘッドラインにドルバーツは上昇。ただ、即日発動ではないことが確認されると、ドル売りに転じ、33バーツ台半ばの水準まで下落。そのまま33.69レベルでクローズを迎えた。

#### ●ドル円その他

昨日のドル円は大幅に下落。154円台前半でスタートしたドル円は、東京仲値にかけて154円台後半まで買われるも、その後は反落。午後には154円ちょうど付近まで下落した。海外時間、米国の物価関連指標の結果や、トランプ政権による相互関税を巡る動向を受け、152円台後半まで下落幅を拡大させると、152.80レベルでクローズを迎えた。

### Bangkok Dealer's Eye

今週12日、トランプ米大統領がプーチン露大統領と電話会談し、ウクライナでの戦争終結に向けた協議開始で合意との報道を受け、原油価格は下落した。原油価格は昨年末から1月中旬にかけ上昇していたが、足元では反落てきており年末と同水準での推移となっている。タイのCPI(総合)は昨年12月に前年同期比+1.23%となり、昨年5月ぶりにタイ中銀の定めるインフレターゲット(1-3%)の下限を上回る水準となった。続く1月も同+1.32%と下限を上回る水準で推移しているが、その背景にはエネルギー価格による影響もある。実際、エネルギー・生鮮食品の影響を除くCPI(コア)の数字は12月：同+0.79%、1月：同+0.83%と総合に比べ、上昇幅は限定的なものとなっている。この先、ウクライナを巡る地政学リスクが後退し、エネルギー価格の下落が継続するのであれば、タイのインフレ低下材料となろう。タイ中銀は利下げだけが低インフレに対する対抗策ではないとの見方を示している一方で、インフレ率が誘導目標を下回る状況が継続するのであれば市場からの利下げ期待は高まりやすく、市場に催促される形で金利低下・バーツ安となるシナリオには注意したい。(綱島)